

# 地域まちづくり事業に対する支援について

市では、隣接した2以上の単一自治会が連携して団体を設立の上、市の認証を受けた団体（「地域まちづくり事業実施団体」といいます。）が、地域まちづくり事業に取り組む場合に助成金の交付や技術的な支援を実施しています。

## ◆地域まちづくり事業とは◆

地域まちづくり事業実施団体が主体となり地域活性や地域課題の解決を図ることを目的とした事業で、かつ、市の主要課題に該当する事業



### 【対象外の事業】

祭りや運動会などの親睦事業や趣味普及事業、専ら直接的に利潤追求を目的とする経済活動、宗教活動、政治活動、特定の政党を推薦支持し又は反対することを目的とする活動等、対象外の事業があります。

## ◆地域まちづくり事業実施団体とは◆

隣接した2以上の単一自治会や市民団体、市内事業者で組織するもので、設置の目的が活動地域に住む者の利益や活性に資するものとして市の認証（※1）を受けた団体

（※1）認証要件の詳細については、お問い合わせください。

## ◆支援内容◆

毎年度・事業毎に事業計画や予算要求、支援申請を市に提出いただきます。市の審査の結果、地域まちづくり事業として採択された場合、次の①②について支援をします。

①助成金の交付：交付対象経費の10/10（上限額：構成する自治会の規模による）

②技術的な支援：市職員等の派遣、情報提供等

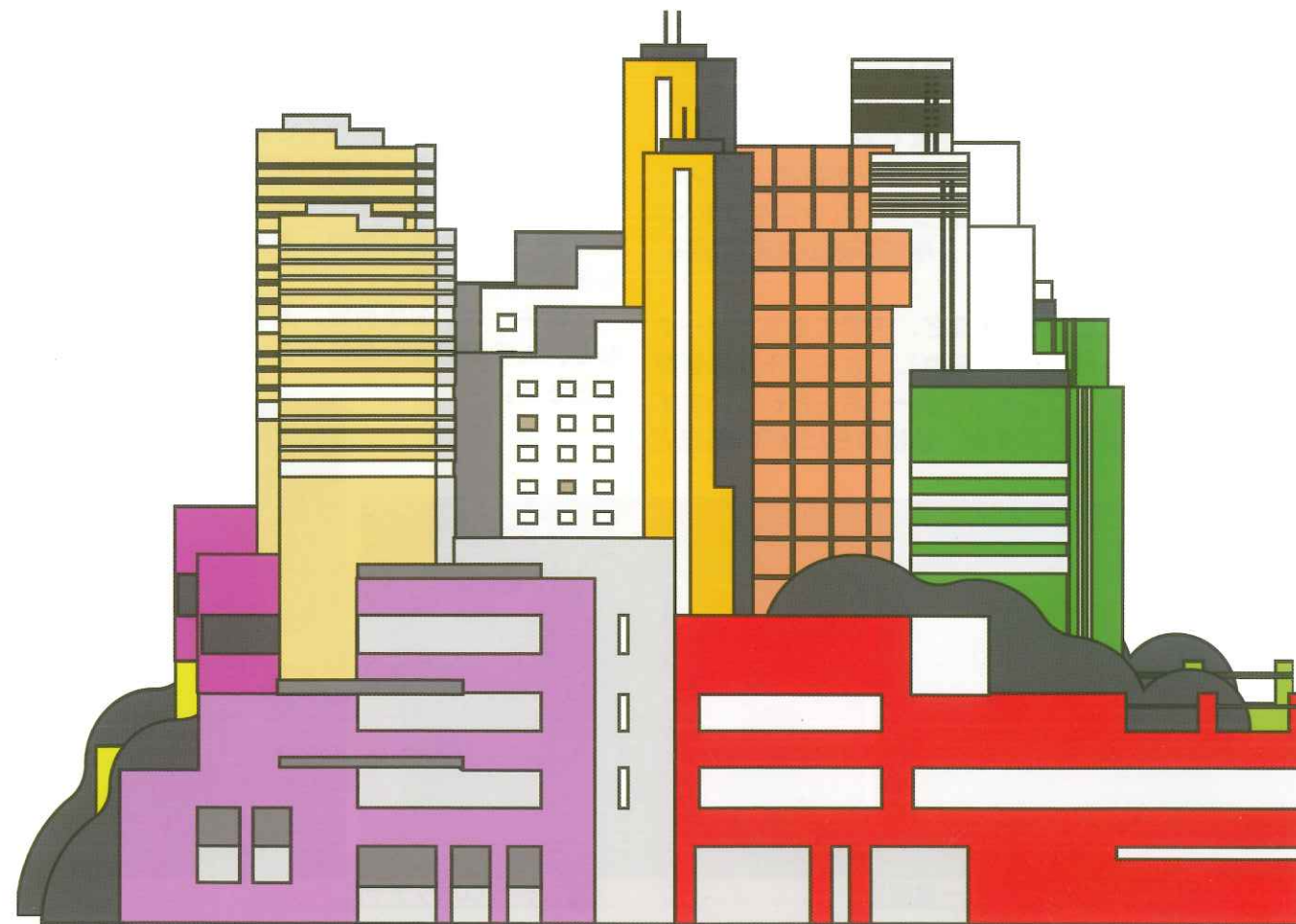
## ◆支援対象期間◆

4月1日（※2）～2月末日

（※2）新規団体を設立した場合、設立時期によって支援対象期間の開始日が異なります。



# 市民協働情報誌 まちづくりいしょ！



## 小竹小学校区まちづくり協議会



ユーカリプレーパーク

### ☆団体設立のきっかけと目的☆

平成27年10月12日、設立総会を開催しスタートした小竹小学校区まちづくり協議会。「住民の住民による住民のため」の活動を基本に、安全で安心して暮らせるまちづくりを目指しています。自治会だけでは対応が難しい課題を、地域全体で取り組むことができるのが強みです。

具体的な活動例として、児童の登下校の安全確保のためのスクールガード活動や、防犯・交通安全教育を学校と協力して実施。さらに、地域力を学校行事に活かし、休耕田を利用した米作り体験や、合同防災訓練・避難所体験訓練などを行っています。高齢者向けには、健康教室をコミュニティセンターで開催し、健康増進を図っています。

### ☆現在特に力を入れている事業☆

どの事業にも、担当者が工夫を凝らし、地域の特色を活かした取り組みを行っています。甲乙つけがたい魅力があり、すべての活動が地域の力を結集したものです。その中でも、現在特に力を入れているのは「ユーカリプレーパーク」です。年間4回、季節ごとに開催し、ユーカリが丘南公園で実施しています。この取り組みは、子どもたちに自然環境で自由に遊ぶ体験を提供し、地域で子育て環境を整えることを目指しています。プレイワーカーを招き、プレイヤーの育成も進めています。さらに、たき火や炊き出しを通じて災害時の訓練にもなり、地域の顔の見える関係づくりに大きな意義があります。

スタッフは小竹まち協から5名ほど、子育てネットワーク佐倉子育て応援団から6名ほどが協力し、さらに千葉県冒險遊び場ネットワークからプレイワーカー1名を招いています。参加者は天候により変動しますが、快晴の日には500名ほどが来場します。



農業振興事業（エリー農園）



おしゃべりポッチャ



歴史散策

### ☆この事業のやりがいと課題☆

子どもが自分の責任で遊べる場所がほぼ無い現代において、自由な発想力や自主性を発揮できる場を提供できることが大きなやりがいです。たき火、木登り、ロープ遊びなど、普段体験できない遊びを通じて子どもも大人も新しい発見があります。プレーパークは子どもだけでなく、大人の居場所としても機能し、顔の分かる関係づくりができることが魅力です。一方で、スタッフの確保が難しく、同じメンバーで続けているのが現状です。来場者の方にスタッフとして参加していただけるよう呼びかけていますが、まだ十分ではありません。大人はもちろん、小中高生や大学生、企業との協働も歓迎しています。

### ☆その他の活動☆

子ども向け事業のほか、地域の方を対象とした事業も充実しています。毎回50名ほどが参加する体操教室「げんき教室」、おしゃべりポッチャ、歴史散策など、楽しいイベントを開催中です。自治会掲示板などで告知していますので、ぜひご参加ください。

### ☆団体の魅力と今後の展望☆

小学校区のまち協として、地域と小学校をつなぐ活動を多く実施しています。2年生から6年生までの学年別事業を毎年行い、地域住民同士がつながるまちづくりを意識して楽しく活動しています。立ち上げ当初から関わるベテラン委員から、最近お子さんが卒業した保護者まで、幅広い年齢層が参加しているのも特徴です。

今後は、地域の方々にもっと巻き込まれていただき、いろんなことを「自分事」として一緒に活動してもらえるようになることを目指しています。

### ☆募集しています！☆

小竹小学校区にお住まいの皆さまは、小竹まち協の会員です。興味のある事業だけでも構いませんので、一緒に活動していただくと嬉しいです。

特に小学生の登下校時の見守り「スクールガード」は、週1回、月1回からの参加でも大歓迎です。冬の寒い日や夏の暑い日は大変ですが、子どもたちの挨拶で元気をもらえると評判です。

その他にも、生垣剪定、通学路の花植え、農業体験など、人手が必要な事業が多くあります。ぜひご協力ください。

## 千代田・染井野まちづくり協議会



染井野小学校避難所開設運営訓練

### ☆団体設立のきっかけと目的☆

千代田・染井野まちづくり協議会は、自治会、学校関係者、諸団体などが集まり、勉強会やワークショップを通じて地域課題を検討したことから始まりました。設立の意義や役割分担について十分な検討を重ねたうえで、単独では対応しきれない課題が明らかとなり、地域全体での連携と情報共有を強化するため、まち協の設立に至りました。現在は、防災を軸に、地域の安全・安心な暮らしを守る活動を進めています。また、より多くの方に活動を知っていただくため、「まちづくりを推進する会」に登録いただいた方には、イベントや講演会の情報をメールでお届けし、地域づくりへの参加を呼びかけています。

### ☆現在特に力を入れている事業☆

避難所運営に関する取り組みです。これは、単独の自治会では対応が難しい課題であり、地域全体で協力することが不可欠です。千代田・染井野地区には、臼井南中学校、千代田小学校、染井野小学校の3つの避難所があります。地域の実情に即した実践的ガイドを避難所ごとに作成し、関係者と連携して毎年訓練を実施しています。訓練は、あえて夏や冬など厳しい気候条件下で行い、課題を抽出して改善策を検討。2025年は臼井南中学校で約100名が参加し、2026年は染井野小学校で実施予定です。

さらに、防災特集号を毎年発行し、家庭での備蓄の重要性を広く周知。避難所で起こりうる事態を疑似体験できる「避難所運営ゲーム」も積極的に取り入れています。2025年には、臼井南中学校の2年生116名を対象に計4回、また地域の教職員約50名を対象に実施し、新たな視点からの意見を得ることができました。

### ☆事業の目的☆

近い将来に発生が予想される震度6クラスの大規模地震に備え、地域全体で命を守る体制を整えることを目指しています。「備えあれば憂いなし」のもと、自助・共助を広げ、避難所の開設・運営を「自分事」として捉え、災害関連死を含む人的被害の低減を図りながら、防災特集号や運営ゲームで災害時を疑似体験し、家庭備蓄と自助・共助の重要性を周知しています。

### ☆事業のやりがい☆

避難所運営に関する取り組みは、地域に少なからず貢献できているという実感があります。訓練やゲームを通じて「とても参考になった」「知らなかったことを学べた」という声をいただくたび、防災への理解が広がっていることを感じ、活動の意義



避難所運営ゲーム

を再認識します。また、自治会や学校、社協など、さまざまな団体との連携を通じて地域のコミュニケーションが広がることも大きなやりがいです。

### ☆事業の課題☆

避難所運営の取り組みには、自治会との連携が欠かせません。しかし、自治会役員や防災担当者は毎年交代するため、説明を一からやり直す必要があります。同じことを繰り返す場面も少なくありません。こうした状況では、事業の継続性や効率性が課題となっています。今後は、情報共有の仕組みを工夫し、引き継ぎをスムーズにすることで、より効果的な防災活動を目指していきたいと考えています。

### ☆団体の魅力と今後の展望☆

千代田・染井野まち協の魅力は、設立当初から避難所運営に真剣に取り組み、実践的なガイドの作成や訓練を継続してきた実績です。その取り組みは近隣の自治会からも一目置かれる存在となり、毎月開催している避難所運営委員会は地域に定着しています。さらに、事業のマンネリ化を防ぐため、常に新しいテーマに挑戦しているのも特徴です。最近では「自治会活動の負担軽減策」「地域に根差した空き家管理」「農業の魅力と安心・安全な食材探求」など、地域課題に即した事業を積極的に展開しています。今後は、地域の他団体や学校、これまで関わりの少なかった在来地区の自治会や住民との連携をさらに深め、類似する事業の整理・統合を進めながら、より多くの住民が気軽に楽しく参加できる活動を目指します。

### ☆住みやすいまちづくりに参加しませんか？☆

千代田・染井野まち協では、防災以外にも住民の心と心が通い合う住みやすいまちづくりに向けた活動をしており、七井戸公園入口の花植え、吉見台公園の竹林整備等も行っております。「まちづくりを推進する会」にご登録をいただくと、イベントや講演会の案内をメールでお届けします。興味のあるイベントだけのご参加も大歓迎です。



七井戸公園入口の花植え